



Title	人文学研究者必見！研究データ管理ことはじめ : OUKAで始めるIIIF画像の公開と利活用
Author(s)	吉賀, 夏子; 田畑, 智司; 甲斐, 尚人 他
Citation	
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/97757
rights	This article is licensed under a Creative Commons Attribution-ShareAlike 4.0 International License.
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

7. まとめ

これからの研究データ管理

2024年度は研究データ管理元年

- 自分で研究データを管理していくだけで済む時代ではなくなった
- 科研費などの研究助成金でも2024年度以降「研究データ管理計画」が交付申請時に必要に
- 自分の研究は世界の知識の一部➡長期的な視点からデータ管理を行う
 1. 世に広く公開することを念頭にデータ管理
 2. 可能な範囲で「利用」ができるような利用許諾を明示
 3. 著作権や人権侵害などに留意
 4. 研究データの出所についての問い合わせには素早い対応を
- データ公開にはOUKAのようなリポジトリの活用がおすすめ

これからの研究データ管理

2024年度は研究データ管理元年

- 自分で研究データを管理していくだけで済む時代ではなくなった
- 科研費などの研究助成金でも2024年度以降「研究データ管理計画」が交付申請時に必要に
- 自分の研究は世界の知識の一部➡長期的な視点からデータ管理を行う
 1. 世に広く公開することを念頭にデータ管理
 2. 可能な範囲で「利用」ができるような利用許諾を明示
 3. 著作権や人権侵害などに留意
 4. 研究データの出所についての問い合わせには素早い対応を
- データ公開にはOUKAのようなリポジトリの活用がおすすめ

IIIFによる画像の公開と長期保存

IIIFの仕組みを利用すると公開と長期保存が同時に行える(OUKAにも搭載)

紹介内容:

1. IIIF画像とは何か
2. IIIF画像の基本的な使い方
3. IIIFの可能性
4. IIIF対応画像の材料と作り方@OUKA

IIIFを採用する組織の一例

国外

- 大英図書館
- スミソニアン博物館
- バチカン図書館
- 国立フランス図書館
- ゲッティ研究所
- ユーロピアーナ など

国内

- 国立文化財機構に属する
国立博物館
- 国立国会図書館
- 国文学研究資料館
- 東京大学
- 京都大学
- 大阪大学
- 地方自治体の図書館 など

【研究成果データの公開と保存についての問い合わせ先】

附属図書館
学術情報整備課
電子コンテンツ担当



当教材をご利用いただきありがとうございました！